

# 平成26年度報告書

- ・事業報告及び附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)  
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

# 平成26年度 事業報告

## 《 概 況 》

平成26年度、予防医学振興事業、福祉事業、音楽文化振興事業の三つの事業分野で、引き続き多岐に亙る事業を実施しました。

予防医学振興事業においては、住友生命総合健診システムにおいて、聴力障害者や介護家族の会員向けの優遇健診を含め、多数の方々に生活習慣病予防健診(人間ドック)を実施しました。平成26年度の受診者数はほぼ昨年度並みの22,590名(昨年比△69名)となりました。住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全で快適に提供するとともに、受診者の健康管理を支援する各種の取組を行いました。また、その運営を通じて得られた知見については、学会等で積極的に発表を行なっています。

助成事業としましては、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行う11大学・12名の若手研究者に海外医学研究助成金を、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている6名の医師に地域医療貢献奨励賞を贈呈しました。

福祉事業においては、24年目を迎えた「スミセイさわやか介護セミナー」をはじめ、介護セミナー(ケアする人のケアセミナー、遠距離介護セミナー)を開催しました。また、コミュニティケア活動支援センターを通じて「自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動」と「高齢者支援活動」を支援しました。子どもの健全育成を願って、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する「子どものための児童館とNPOの協働事業」、次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援し、自然環境学習につなげる「子どもエコ俳句大賞」を実施しました。

音楽文化振興事業においては、年間企画は3年間にわたり、「モーツァルト～未来へ飛翔する精神」と題し、モーツァルトの20歳から35歳で亡くなるまでの15年を5年毎に区切り、時代を追って彼の名曲を味わっていただくというもので、平成26年度はその2年目でした。バッハ・アルヒーフ・ライプツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も3年目を迎えました。

若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組としてユースシートを継続し、また大阪市音楽団と提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約3,000人がいずみホールを訪れました。障害者等をコンサートに招待する「いずみホール夢コンサート」は12回目を迎えました。

各分野、個別事業の取組内容については次のとおりです。

## I 予防医学振興事業

### 1. 生活習慣病予防健診(住友生命総合健診システム)

予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理に資する住友生命総合健診システムは、設備の充実、きめ細かい受診者対応と相俟って、引き続き多数の方々に受診いただきました。

平成26年度、総合健診受診者数は、22,590名、1日あたり平均88名(前年度22,659名、89名)とほぼ前年並みの受診者数となりました。初めてご利用いただいた方は、3,211名となり、初めての方にも数多く当施設をご利用いただきました。

また、実施7年目を迎えた特定健診・特定保健指導の年間受診者数は、8,338名となりました。

#### 【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診		特定健診・特定保健指導			
	対象者(うち初回受診者)	(初回割合)	対象者	当日面談	後日面談	情報提供
男性	12,795 (1,674)	(13.0%)	5,183	1,849	387	2,947
女性	9,795 (1,537)	(15.6%)	3,155	1,212	335	1,608
合計	22,590 (3,211)	(14.2%)	8,338	3,061	722	4,555

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全に快適に提供するため、医療用画像管理システムの更改、心電図ファイリングシステムの更新等、計画的に設備、施設の更新を行いました。受診者アンケートを実施し、ご要望にお応えする等受診者サービスの向上にも積極的に努めました。10月には、インターネット予約を開始し、11月には、ホームページのリニューアルを行いました。また、人間ドック学会の機能評価施設認定の更新手続きを行なう等、健診内容の品質向上に継続して取り組みました。

また、17年目を迎えた聴力障害者無料健康診断を平成27年2月7日に実施、平成21年度から実施している大阪府下の介護家族の会会員への総合健診受診優遇を継続し、健康管理が疎かになりがちな層への健診サービスの提供に努めました。

主な取組事項はつぎのとおりです。

上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査の充実	平成26年4月より経鼻上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査を週5日(月曜日から金曜日)3ブースに拡充し、受診者の利便性向上に努めました。
乳癌検査(マンモグラフィとエコーの併用検診)の充実	週5日(月曜日から金曜日)実施していたマンモグラフィとエコーの併用検診を平成27年1月より土曜営業日についても実施し、女性受診者の利便性向上に努めました。
検査機器の更新	乳房超音波診断装置、純水製造装置の買い替え、免疫血清分析装置の更新を行い、健診精度の維持向上に努めました。

検査管理システムの更新	医療用画像管理システム、心電図ファイリングシステムの更新を行い、健診精度の維持向上に努めました。
特定保健指導の充実	特定保健指導に減塩ソフトをインストールしたタブレット端末を導入し、有効な情報提供と特定保健指導の充実に努めました。
胃がん検診パンフレット作成	検診事例をもとに「よくわかる胃がん検診ガイド」を作成し、受診者の方がより適切な検診を選択できるようサポートするとともに、胃がん検査の有用性の啓発に努めました。
ホームページのリニューアル	ホームページからのインターネット予約を平成26年10月より開始し、ホームページも全面リニューアル、また改ざん検知サービスも導入し、利便性向上および信頼性確保に努めました。
受診勧奨案内の充実	前回受診から10か月経過した受診者の方へ案内していた受診勧奨のお知らせを出状後6か月経過後にも再出状することとし、継続受診の有用性の啓発に努めました。またインターネット予約方法を含めた予約案内ちらし(新規作成)を同封し、簡便に予約いただけるよう配慮しました。
人間ドック健診施設機能評価の認定更新対応	日本人間ドック学会の人間ドック健診施設機能評価が5年目の更新期を迎え、平成27年3月に機能評価の審査を受け、現在審査中です。
聴力障害者無料健康診断の実施	平成27年2月7日に聴力障害の方を対象にした無料健康診断を実施しました。公益社団法人大阪聴力障害者協会・公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会等を通じ告知を行い、多数の申込のうち72名(男性37名、女性35名)の方が受診されました。受診時のみならず、事前説明会、結果説明会も手話通訳つきで実施しました。この取組は17回を数え、これまでの延べ受診者数は1,250名にのぼっています。
介護家族の会会員への総合健診受診の優遇	親または配偶者の介護に携わる人は、自身の健康管理が疎かになりがちであるため、大阪府下の「介護家族の会」の会員で現に介護に携わっておられる方を対象に受診優遇を継続実施し、56名の方に受診いただきました(受診料10,000円)。

住友生命総合健診システムの運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、平成26年度については以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第53回日本消化器がん検診学会総会	6月7日	福井県 フェニックス・プラザ
症例検討会座長 「判定基準、事後指導区分が有用だった症例、問題のあった症例」 長尾顕一		
第43回消化器がん検診学会近畿地方会	7月5日	和歌山県 県民文化会館
超音波スクリーニング検査のポイント「腎臓」、初級者対象実技指導 長尾顕一		

第55回日本人間ドック学会学術大会	9月4日～5日	福岡国際会議場
上部消化管検査とHelicobacter pylori(HP)に関する検討 堀本葉子		
メタボリック症候群関連リスク数とCAVI値に関する検討 寺田博美、堀本葉子、宮寄智子、野田直子、大原郁美、本田笙子、長尾顕一、久保 満明		
第36回関西総合健診医学会懇話会	9月20日	新阪急ホテル
HCV抗体陽性者におけるHCV-RNA測定の有用性 笹井恵、神吉真理、亀岡美幸、石原真菜、林寺由美、馬本美幸、坂下智子、青木芳子、長尾顕一、堀本葉子		
第24回日本乳癌検診学会総会	11月7日	前橋商工会議所会館
「乳房超音波(US)+触診」と「US+マンモグラフィ(MMG)」の前回受診状況成績について 馬本深幸、岡田優子、亀岡美幸、上田裕美子、川崎幸代、田内周子、大槻安代、桑田隆代、寺田博美、長尾顕一、堀本葉子		
富士フィルムメディカル検診セミナー： 胃と肺の検診は、新しいステージへ～受診者の満足度も向上、精度の高い検診を実現するために～	11月21日	朝日生命大手町ビル5階(フクラシア東京ステーションK会議室)
健診施設における上部消化管健診の実際について 堀本葉子		
大阪府臨床検査技師会 第4回腹部エコー実技研修会	11月30日	関西医科大学附属滝井病院
実技指導講師 亀岡美幸		
第43回日本総合健診医学会	2月20日～21日	富山国際会議場
「経鼻内視鏡検査(以下GIF)の鼻出血発症状況について」 大原郁美、野田直子、宮寄智子、奥山令子、寺田博美、本田笙子、堀本葉子		
「アンケートにより得られた受診者の要望と対策」 村上洋子、寺田博美、小山平幸、鈴木聡子、本田笙子、長尾顕一、堀本葉子、藤田譲司		

## 2. 海外医学研究助成

日本国内の大学を卒業し、医学博士の資格を取得後、生活習慣病等の先端医療分野の研究を行うために海外の大学または学術研究機関に留学する若手研究者に対し、一人あたり150万円の研究助成を行いました。平成26年度は11大学、12名への助成を実施しました。

(助成対象者一覧は次頁のとおり)

氏名	大学	留学先	専攻	研究課題
山口 慎太郎	慶應義塾	米 ワシントン大学	腎臓内分泌 代謝内科	NAD合成系-Sirt1を標的とした早期糖尿病性腎症の新規診断・治療法開発を目指した新しいトランスレーショナル型リサーチの展開
加藤 大悟	大阪	米 シカゴ大学	器官制御 外科学 泌尿器科	腎癌凍結療法あるいは分子標的薬治療に反応する予測因子としての細胞傷害性T細胞 (Cytotoxic T Lymphocyte) sub-cloneの同定
戸上 勝仁	東京	ダナ・ファーマー 癌研究所	細胞療法分野	骨髄異形成症候群におけるGNB1変異体の機能解析
末永 雅也	名古屋	ジョン ホプキンス 大学	消化器外科学	膵癌におけるトランスレーショナルリサーチ 特に膵癌の早期発見に寄与しうる遺伝子学的研究
吉濱 小百合	千葉	米 テキサスA&M 大学	消化器内科	Nod2欠損マウスを用いた新規クローン病治療の開発
越智 章展	大阪市立	米 エール大学	代謝内分泌 病態内科学	腎髄質の腎臓前駆細胞による尿細管再生調節機構
杉本 匡史	三重	伊 ミラノ大学	循環器・腎臓 内科学	安静時および運動時の右室-肺循環連関に心肺運動トレーニングが及ぼす影響
中河 秀俊	金沢	ダナ・ファーマー 癌研究所	医学系恒常性 制御学	CD8陽性制御性T細胞の分化とがん免疫における機能解析
寺見 直人	岡山	米 ケンタッキー 大学	腎・免疫・内分泌 代謝内科学	動脈硬化進展におけるテロメアーゼの役割とその解明
末松 保憲	福岡	カリフォルニア 大学 アーヴァイン校	循環器内科	機能的HDLコレステロールによる心血管疾患抑制効果の機序解析
笠原 和之	神戸	ウィスコンシン 大学 マディソン校	循環器内科学 分野	メタボリック症候群、心血管病における腸内細菌叢の役割の解明
森 健太	神戸	カリフォルニア 大学 デイヴィス校	循環器内科学 分野	種々の糖による脂肪酸代謝誘導がもたらす動脈硬化への影響の解明

### 3. 地域医療貢献奨励賞

自治医科大学の後援を得て、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は8年目を迎えました。平成26年度、全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、平成27年2月21日に表彰式を行いました(副賞50万円)。

山田 昌弘	山形県東置賜郡川西町 公立置賜総合病院・副院長
<p>昭和55年自治医科大学卒。昭和58年から川西町立病院に勤務し、義務年限終了後も、引続き率先して同病院に勤務。平成9年4月には、同病院長となり、県内有数の豪雪地帯である川西町において、農山村地域の医療確保・医療充実に尽くすなど、診療や地域住民の健康づくり等に尽力してきた。平成12年からは自治体病院の統合再編により設立された公立置賜総合病院(へき地医療拠点病院)の外科医として勤務し、全国的に初めて導入されたサテライト方式のスムーズな運用を図るため、医療連携を推進してきた。また、OKI-net(置賜地域医療情報ネットワークシステム)の設立に中心的な役割を担うなど、他地域への支援や連携にも積極的に取り組み、県内における地域医療の充実に貢献している。公立置賜総合病院には12年に亘り勤務し、川西町立病院での勤務を含めると、地域医療従事は30年の長さに及ぶ。平成25年4月には公立置賜総合病院の副院長に就任している。</p>	
藤井 佑二	東京都大島町 大島医療センター・院長
<p>昭和45年順天堂大学医学部卒。昭和53年から大島町で藤井医院を開業していた実父の依頼により、離島というへき地での勤務をスタート。5年間勤務後、一旦大島町を離れるが、平成16年に大島医療センター(既存の3診療所を集約し、同年に開設された公設民営型の診療所)の理事に就任し、その後精力的に町民への医療を続けている。専門は消化器外科であるが、診察する患者にとって最良の治療方法を常に探究し、患者へ丁寧に説明、町民から厚い信頼を得ている。インフォームドコンセントという言葉が普及する以前から医療現場で実践してきた。また、日々の外来診療の他、在宅患者の訪問診療、障害者施設や老人ホームへの往診など、多忙な診察をこなし、急患があれば昼夜を問わず診察、今も月6回の当直勤務に就いている。昨年10月の台風第26号による土砂災害時は、先頭に立って医療現場を統括し、さらに新たな台風接近に伴う二次災害対策として、入院患者の島外避難に際しては、14名の患者一人ひとりにつき添い、容態を気づかいながら、自衛隊輸送機に搭乗させた。内地との医療格差を少しでも解消させたいとの思いと、島の町民が安心して暮らせるよう、また、安心できる医療を確保し提供できるよう日々邁進している。</p>	
南 眞司	富山県南砺市 南砺市政策参与、 地域包括医療・ケア局地域包括課顧問
<p>昭和52年金沢大学医学部卒。昭和58年から内科医長として南砺市民病院の前身である井波厚生病院(平成4年公立井波総合病院に改称)に着任以来、31年間にわたり地域医療の進展と地域包括ケアシステムの体制づくりに尽力した。平成2年より副院長、平成14年4月には保健福祉医療部長、地域リハビリテーション科部長を兼務。翌15年にはデイケアセンター長も兼務と精力的に取り組む、中山間地という地理的に不便な環境と過疎化の進行による超高齢化社会の到来を見据え、市民病院において地域包括医療・在宅医療の基盤整備を積極的に図った。平成16年11月に4町4村が合併して南砺市民病院に改称され、平成19年10月には同院長に就任、総合診療医の育成を優先課題とし、平成21年から研修医の受け入れを開始した。富山大学総合診療部の協力を得</p>	

<p>て南砺市民病院の後期研修プログラムは「NANTO家庭医養成プログラム」の愛称で、家庭医・総合医育成に努めている。平成26年3月に病院長を退いた現在も、南砺市民病院嘱託医として現場の第一線に立つ一方で、南砺市政策参与として地域包括課顧問に就任し、南砺市の地域包括医療・ケアの体制確立に引き続き尽力している。</p>	
二村 昭	三重県南牟婁郡紀宝町 紀宝町顧問
<p>昭和43年京都大学医学部卒。昭和50年6月、三重県熊野保健所技師として奉職、三重県熊野保健所長を歴任した。循環器健診と健康教育を結びつけた循環器健康システムを紀南地域に構築・定着させ、積極的に山間へき地を巡回して脳卒中死亡率の低下に貢献した。昭和63年からは三重県最南に位置する紀宝町に奉職。定年退職となる平成20年までの18年間、当時医師が不在であったへき地診療所・紀宝町立相野谷診療所長を勤め、訪問看護・在宅看護支援事業を展開し、積極的に在宅医療の普及に努めた。同時に歴任した紀宝町健康管理担当参事、同理事として、昭和63年には、高齢者の健康問題に対処するため、保健医療福祉を包括した「紀宝町総合保健計画」を立案し、食生活・運動習慣・対人関係における行動習慣などを、より健康的な習慣に改めるための診断・生活処方などに重点をおいた医療活動の普及に努めた。また、平成9年には、「健康文化の町づくり計画」を策定し、住民の創意工夫による主体的な健康習慣の形成が可能な町づくりの構築に貢献した。平成20年から6年間は、紀宝町の医療及び福祉行政の一体的な推進を図るための紀宝町特別参与に就任。平成26年4月からは、紀宝町顧問に就任し、紀宝町の健康管理医師として、引き続き尽力している。</p>	
濱田 邦美	徳島県那賀郡那賀町 相生包括ケアセンター・センター長
<p>昭和62年自治医科大学卒。平成元年から、へき地医療支援病院である「県立三好病院」を皮切りに、県内のへき地診療所長を歴任し、現在は那賀町相生包括ケアセンター長として、25年間にわたり、第一線の現場で身を挺して活動している。「住みよい町づくり」を目指して住民と行政とのコラボレーション・連携に向けた取り組みを先進的に進めてきた。保健・医療・福祉の各分野が一体となった複合施設をつくるためのプロジェクトチームを自らが先導し、平成10年秋には、県内で初となる24時間・365日対応できる医療施設を核として、訪問看護ステーションやデイケア、在宅介護支援センターなどを併設しサービスを提供する「相生町包括ケアセンター」を完成した。地域に根ざした「住民本位」の取り組みを積極的に推進し、その取り組みは全県的にも参考にすべき事例となっている。平成22年度においては、政府の「社会保障改革に関する集中検討会議」の委員に任命され、地域医療を担う現場の医師の代表として、国の社会保障と税の一体改革に助言を行った。「住んでみたい・住んで良かった町づくり」を目標として、お互いに助け合いながら自立できる地域づくりに向け、幅広い分野で住民と行政の橋渡し役として活躍している。</p>	
鈴木 済	鹿児島県薩摩川内市 里診療所・所長
<p>昭和59年自治医科大学卒。鹿児島県立北薩病院や県内のへき地診療所等の勤務を経た後、平成15年4月、薩摩郡里村へき地診療所(現在の薩摩川内市里診療所)へ着任した。里診療所は薩摩川内市の外海離島である上甕島の里町内にあり、唯一の医療機関であるため、町内で発生するすべての傷病に対し24時間体制で対応している。1日平均約60人もの外来患者の診療に1人であたるほか、事故や急病患者などに対する初期対応、高齢者等への訪問診療や各種健診など</p>	

その業務は多岐多様にわたっている。また、児童・生徒や施設入所者の健康保持にも尽力し、保健医療福祉に従事する関係機関の職員とのカンファレンスも積極的に推進している。患者ひとりひとりの性格や生活状況、そして家庭環境等まで熟知し、地域住民のかかりつけ医として、全幅の信頼を得ている。そのような中、平成21年7月、隣接する上甕町内の上甕診療所の常勤医師が退職し、医師不在となったため、上甕診療所所長も兼務し、上甕診療所の維持・存続に奔走した。里町のみならず、上甕町を含めた上甕島における医療の確保及び地域住民の健康福祉の増進等、離島医療に携わる医師の模範である。

## Ⅱ 福祉事業〔実施事業〕

### 1. 「スミセイさわやか介護セミナー」

国の介護保険制度が始まる9年前、平成3年にスタートした「スミセイさわやか介護セミナー」は、全国各地の地元新聞社との共催、住友生命保険相互会社（開催地支社）の協賛により毎年開催し、好評のうちに回を重ねて24年を迎えました。

行政の変化等、介護を取り巻く状況の変化に則し、適宜セミナー内容の見直しを行い、家庭に要介護者を抱えた家族、介護の仕事に就く人、さらには一般の方々に、広く介護関係の知識・技術を伝える役割を担っています。また、平成25年度からは、健康に老後を迎えるという観点から、「健康」（特にがん予防）もテーマに取り入れました。

セミナーでは、専門家による介護保険制度に関わる情報提供、関心が高まる認知症に関わる予防および介護等に関する医療・介護関係者による講演、健康をテーマにした医療関係者による講演、著名人の体験を踏まえた講演、

看護師・介護士等の専門職による移動・食事・排泄・メンタルケア等の実技指導など、多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供しました。

平成26年度は全国38都市で開催し、参加者は延べ約9,800名に達しています。



### 2. 「ケアする人のケア」セミナー

一般財団法人たんぼの家との共催により、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを毎年開催しています。平成26年度は「人はなぜ助け合うのか」をテーマに、平成26年12月宜野湾市（沖縄県）で2日間に渡り開催しました。地元のNPO、研究者、医師、作業療法士、保健師、写真家などが講師・パネリストを務め、約180名の参加者がありました。1日目は「表現を楽しむ」「方言とケア」「写真の力」の3つのワークショップを開催し、参加者のみなさんが熱心に取り組みました。2日目は「ケアとは何か」というキーノートスピーチを皮切りに、「沖縄の看取りの変遷と行く末」「助け合う共同体の再生」の2つのパネルディスカッションを開催し、問題を深掘しました。看取りをテーマにしたセミナーは現代の看取りや死生観の矛盾が指摘され、意義深い内容となりました。

また、新たな取り組みとして、「ケアする人をケアする」活動に取り組みたい、今実施している活動をさらに発展させたい等を希望される方々を対象にした「ケアとソリューション」連続講座（3回）を福

岡で開催しました。「ソーシャルビジネス」「テクノロジー」「ソーシャルデザイン(地域社会)」から、現場の知識・経験・知恵を紡ぐことを試みました(参加者延べ118名)。

平成25年度に開設した介護者を支える実践者の優れた取組み等を共有化するネットワーク「HELP ON HELP」はさらなる充実を図りました。

### 3. 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、東京(平成26年10月)、大阪(平成26年11月)で「経験豊富な弁護士に聞く『遠距離介護にまつわる法的トラブルの対応と心得』」をテーマに、遠距離介護セミナーを開催しました。第1部は弁護士による「親の暮らしに潜むリスクと対処法」の講演、第2部は「お悩み軽減! 遠距離介護アドバイストーク」と題し、弁護士、ケアマネジャー、施設運営者等によるパネルディスカッションを行ない、問題解決に向けたヒントを探りました。また、遠距離介護体験者にも登壇いただき、ご自身の経験からのアドバイスをお話いただきました。約200名の方が参加され、多くの質問もあり、充実したセミナーとなりました。

また、平成25年度に改定した、これまでのノウハウをまとめた情報冊子「あなたの遠距離介護ノート」を配布しました。

### 4. コミュニティケア活動支援

地域に密着したNPO等が「大きな福祉」実現に向け連携して取り組む活動を、コミュニティケア活動支援センター(コムケアセンター)を通じて支援しました。平成26年度も、重点テーマを「自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動」と「高齢者支援活動」に設定し、活動の中心になるNPOやグループとの連携を強め、新しい動きに向け注力しました。またコムケア活動の広がりを生み出すためのサロン活動を継続し、様々な活動との関係を深め、やわらかなネットワーク組織発想を広げることに努めました。

平成26年度にコミュニティケア活動支援センターが取り組んだ事項は次のとおりです。

自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動	平成26年度も「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい」の事務局業務を引き受け、平成25年度から取り組んでいる自殺をテーマにした少人数のラウンドテーブルミーティングの開催を中心に活動しました。「会社で働く人」「医療関係者」「学校関係者」「若い世代」を対象に継続的に取り組み、「会社で働く人」(2回)「若い世代」は公開ミーティング・フォーラムを開催しました。「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい」の代表が理事長を務める東尋坊のNPO法人「心に響く文集・編集局」(東尋坊で自殺防止の見回り活動を続ける、コムケア活動が最初に資金支援を行なったNPO)が設立10周年を迎え、シンポジウムを開催しました。
-------------------------	---

(自殺に追い込まれることのない社会に向けての活動)	平成25年度から取り組んでいた「ネットワークささえあい・新潟」を立ち上げ、第1回目の交流会を5月に開催しました。これが9月に新潟市と「ゲートキーパー研修会」を共催する契機となり、新潟市が事務局になっている「新潟市自殺対策実務者ネットワーク」のメンバーにも登録されました。大阪の自死遺族が立ち上げた「あゆみあいネット」は組織として自立、息子さんを自死で亡くした遺族が立ち上げた「ライフパワー」の活動は「イキル応援プロジェクト」へと発展してきています。
高齢者支援活動	NPO法人認知症予防ネット(京都)が注力している認知症予防ゲームの普及活動を支援しました。リーダー研修会や体験フォーラムを通じて、実践者が確実に増えてきたことから、実践者の交流会とゆるやかなネットワーキングに取り組んでいます。この認知症予防ゲームを体系化するため、「認知症予防ゲーム研究会」も立ち上げました。認知症の人の「徘徊」対策用の缶バッジも製作しています。NPO法人認知症予防ネットも設立10周年を迎え、次のステップへと向かっています。
コムケアネットワーク活動	メーリングリスト(全国約600人程度参加)を中心に、「大きな福祉」の理念を共有する連携関係を深める一方、メンタルヘルス問題や子育て支援関係(いじめ対策などを含め)、障害を持つ人の就労支援やコミュニケーション支援など個別の相談を継続して受けています。また、関西コムケア交流会も定着してきました。

## 5. 子どものための児童館とNPOの協働事業

日本NPOセンターが主催する「子どものための児童館とNPOの協働事業」(一般財団法人児童健全育成推進財団協力)に協賛し、児童館を舞台に子どもと多分野NPOの出会い創出を支援する活動は8年目となりました。公募型助成プログラムに変更後4年目にあたる平成26年度は、16都道府県から応募があり、15都道府県、33児童館・24プログラム(4館合同、7館合同のプログラムあり)に支援しました。また、新たに山形県、埼玉県、山梨県での開催があり、過去に実施した地域と合わせると、これまでに23都道府県で実施しました。

平成26年度の応募プログラムの特徴は、ステークホルダーの増加です。平成25年度にもその傾向はありましたが、申請書やプログラムシートを見直したこともあり、地域課題・社会問題の解決に、協働NPO以外の第三者(商店街、自治会、地方自治体等)を巻き込んだ事業が増えました。また、事業実施後の展開を意識した取組みが増えたことも特徴です。子どもが育つ地域環境の整備という本事業の取組みが、多くの関係者とともに、地域の活性化・地域との共存につながっています。

## 6. 自然環境学習につなげる子どもエコ俳句大賞

次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援するため、自然環境学習につなげる「第9回子どもエコ俳句大賞」を、NPO法人シニア自然大学校と協働して、近畿二府四県の小学生を対象に実施しました。平成26年度は応募50,966句の中から特選3、準特選3、優秀賞40、優良賞60の合計106句を選出し、平成27年1月25日に大阪市立こども文化センターで受賞者・家族約300名が出席のもと表彰式を行いました。

特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	よるのやま パパのせなかと カブトムシ 鈴木 航 大阪市 鶴見南小学校1年
	中学年	金魚ばち たたけば金魚 ういてくる 津村 太遥 明石市 大久保南小学校3年
	高学年	すだれから とどいたかげは ストライプ 坂上 遥香 宝塚市 雲雀丘学園小学校5年
準特選	低学年	じいちゃんち まきストーブで ぽっかぽか 嶋崎 小町 田尻町 田尻町立小学校2年
	中学年	ぼくのあせ ちきゅうのなみだ とまるなら 徳山 惇也 豊中市 東豊台小学校4年
	高学年	夏休み 自分でつけよう エコ日記 中野 優 堺市 鳳南小学校6年

### Ⅲ 音楽文化振興事業【実施事業(式典等の貸館を除く)】

平成26年度、いずみホールは年間33回の主催公演を開催しました。共催公演、貸館も含む公演数は222公演、年間の入場者総数は120,869人となりました。主催公演の入場者数は平均で604名(H25年度648名)でした。過去最高を記録した昨年度に比べると消費税増税の影響もあり平均で40名ほど落ち込みましたが、600名は確保することができました。貸館数は大阪国際室内楽コンクールも実施され、前年を上回りました。相変わらず、アマチュア団体の活動は活発で土・日の貸館はほぼ予約でいっぱいになっています。全体の平均入場者数は544名(H25年度585名)と前年に比べ40名ほど減少しました。

	平成26年度 ( )は前年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	33 (30)	19,923 (19,447)	938	557,445
共催公演	5 (9)	3,500 (6,243)		
貸館(一般公演)	171(167)	97,446(104,134)	4,985	2,755,758
貸館(レコーディング、式典等)	13 (16)			
合計	222(222)	120,869(129,824)	5,923	3,313,203

(注)貸館(一般公演)には受託公演を含む。

平成26年度は、メイン企画として、初めて3年間のシリーズとして企画した「モーツァルト～未来へ飛翔する精神」の第2年目、モーツァルトがザルツブルクからウィーンに拠点を移した前半の5年間を特集しました。オペラの代表作「フィガロの結婚」を東西の実力派歌手を集めて上演し、大阪文化祭賞優秀賞を受賞しました。ドイツを代表するゲヴァントハウス弦楽四重奏団が登場、また7年ぶりにオーケストラ・リベラ・クラシカを起用し、大ミサ曲を上演するなど全5公演を多彩に上演しました。バッハ・アルヒーフ・ライプツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も3年目を迎えました。長唄三味線で人間国宝に認定された今藤政太郎企画による「勸進帳」。そのほか現代音楽を積極的に紹介する「いずみシンフォニエッタ大阪」定期演奏会、定番シリーズとなっている「ランチタイム・コンサート」、有名アーティストによる「スペシャル・コンサート」「ミュージック・サプリ」「ミュージック・ステージ」「サマーヴァケーションコンサート」など、バラエティに富むラインアップで、多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。

障害者をご招待する「夢コンサート」は12年目を迎えました。また、若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続、大阪市音楽団と提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約3,000人がいずみホールを訪れました。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

【モーツァルト～未来へ飛翔する精神(プレ企画+関連企画+全5公演)】

9/4 (木)	モーツァルト・プレ企画～レクチャー・コンサート 「ウィーンを駆け上がるモーツァルト～シュタインとヴァルターの響き～」 久元祐子(ピアノ)、須賀麻里江(ヴァイオリン)、磯山雅(解説)	621
11/3 (月・祝)	関連企画～フリーメーソンの世界 中嶋彰子(ソプラノ)、ライナー・トロスト(テノール)、 ニルス・ムース(ピアノ)、ゲルハルト・ヴィテック(モーツァルトハウス館長) モーツァルト:すみれ、春の初めに、魔術師 ほか ほか	397
11/12 (水)	I.「学び深めた四重奏の世界」 ゲヴァントハウス弦楽四重奏団 モーツァルト:弦楽四重奏曲第15番 モーツァルト:弦楽四重奏団第19番「不協和音」 ほか	546
11/19 (水)	II.「友情のホルン」 クリスティアン・アルミンク(指揮)、シュテファン・ドール(ホルン) 京都市交響楽団 モーツァルト:ホルン協奏曲第3番、第4番 モーツァルト:交響曲第36番「リンツ」 ほか	569
12/6 (土)	III.「ここにはすべてがある」 河原忠之(指揮) 黒田博(伯爵)、澤畑恵美(伯爵夫人)、西尾岳史(フィガロ)、 石橋栄美(スザンナ)、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ほか モーツァルト:オペラ「フィガロの結婚」K492	710
1/17 (土)	IV.「妻と捧げる祈り」 鈴木秀美(指揮) オーケストラ・リベラ・クラシカ、コーロ・リベロ・クラシコ モーツァルト:セレナード第10番 K.361「グラン・パルティータ」 モーツァルト:ミサ曲ハ短調 K.427	545
2/11 (水・祝)	V.「輝ける主役」 コンスタンチン・リフシツ(ピアノ・指揮) 日本センチュリー交響楽団 モーツァルト:ピアノ協奏曲第15番、第23番 モーツァルト:交響曲第35番 K.385「ハフナー」	609

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/12 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第33回定期演奏会 ～「動物たちとのワンダーランド」 飯森範親(指揮)、丸山泰雄(チェロ)、太田真紀(ソプラノ) いずみシンフォニエッタ大阪 川島素晴:セロ弾きのゴーシュ サン＝サーンス:動物の謝肉祭 ほか	437
-------------	--	-----

1/24 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第34回定期演奏会 「リズムの秘法～世界の創造」 板倉康明(指揮)、西本淳(サクソフォン)、福間洸太郎(ピアノ) ロタル:シャクティ リゲティ:ピアノ協奏曲 ミヨー:世界の創造 ほか	455
-------------	--	-----

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会】

7/4 (金)	第5回 ダイニエル・ロート(オルガン) バッハ:プレリュードとフーガ ト短調 BWV535 ファンタジーとフーガ ト短調 BWV542 ほか	607
3/21 (土・祝)	第6回 ヨハネス・ウンガー(オルガン) バッハ:プレリュードとフーガ ハ長調 BWV531 トリオ・ソナタ第6番 ト長調 BMW530 ほか	732

【ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:日下部吉彦)】

6/9 (月)	ランチタイム・コンサートvol. 88 「天満敦子」 天満敦子(ヴァイオリン)、酒井愛可(ピアノ) クライスラー:ロンディーノ シューマン:トロイメライ マスネ:タイスの瞑想曲 ほか	768
9/2 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 89 「加納悦子」 加納悦子(メゾ・ソプラノ)、長尾洋史(ピアノ) シューベルト:シルヴィアに、春の想い、漁師気質、ミューズの子 モーツァルト:恋とはどんなものかしら ほか	593
12/8 (月)	ランチタイム・コンサートvol. 90 「ジャパン・ブラス・コレクション」 バリー・グレイ:サンダーバード チャイコフスキー:弦楽セレナード ハ長調 作品48より G・ホルスト(川上肇編):吹奏楽のための第二組曲 ほか	598
3/10 (火)	ランチタイム・コンサートvol. 91 「岡原慎也&岡田将」 岡原慎也(ピアノ)、岡田将(ピアノ) モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ ニ長調 K.448 ミヨー:スカラムーシュ op.165b バーンスタイン:『ウエスト・サイド・ストーリー』より ほか	634

【ミュージック・ステージ】

8/9 (土)	Summer Vacation Concert ロザン(司会)、川瀬賢太郎(指揮) 大阪交響楽団 ドヴォルザーク:スラブ舞曲 第1番 ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ チャイコフスキー:《くるみ割り人形》より「花のワルツ」 ほか	666
------------	--	-----

10/16 (木)	レ・ヴァン・フランセ エマニュエル・パユ(フルート)、フランソワ・ルルー(オーボエ)、 ポール・メイエ(クラリネット)、ラドヴァン・ヴラトコヴィチ(ホルン)、 ジルベール・オダン(バスン)、エリック・ル・サージュ(ピアノ) ベートーヴェン:ピアノと管楽のための五重奏曲op. 16 プーランク:六重奏曲 ほか	738
12/18 (木)	クリスマス・コンサート2014～シネマでXmas 岩村力(指揮)、岡部まり(司会) 関西フィルハーモニー管弦楽団 ニーノ・ロータ:『ロミオとジュリエット』 ラフマニノフ:前奏曲 第1番 嬰ハ短調《鐘》(映画『シャイン』より) アンドリュウ・ロイド＝ウェバー:『オペラ座の怪人』 ほか	504

【小菅優 ベートーヴェン ピアノソナタ全曲演奏会】

6/18 (水)	小菅優ベートーヴェン・ピアノソナタ全曲演奏会 第7回 小菅優(ピアノ) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第5番 ハ短調 op. 10-1 第11番 変ロ長調 op. 22 第29番 変ロ長調 op. 106「ハンマークラヴィア」	586
3/19 (木)	小菅優ベートーヴェン・ピアノソナタ全曲演奏会 第8回(最終回) 小菅優(ピアノ) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調 op. 109 第31番 変イ長調 op. 110 第32番 ハ短調 op. 111	646

【その他公演】

4/8 (火)	庄司紗矢香(ヴァイオリン)&メナヘム・プレスラー(ピアノ) シューベルト:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 D.384 ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 op78 ほか	768
5/26 (月)	平日午後2時コンサート～日本のうた 高橋薫子(ソプラノ)、田中 純(バリトン)、花岡千春(ピアノ)、 河内厚郎(ゲスト)、磯山 雅(お話) 丘を越えて、国境の町、宵待草、二人は若い めんこい仔馬、燦めく星座、銀座カンカン娘 ほか	552
6/24 (火)	イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)&アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ) ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調op. 78《雨の歌》 第2番イ長調op. 100、 第3番ニ短調op. 108 ほか	552
8/1 (金)	ミュージック・サプリ Vol.9 田代万里生(ヴァイオリン)&御邊典一(ピアノ) プッチーニ:”私のお父さん、ロイド＝ウェバー:メモリー シューベルト:音楽に寄せて、カルディロ:カタリカタリ ほか	651

9/13 (土)	日本の響き～和の音を紡ぐ 東音宮田哲男(唄)、今藤政太郎(三味線)、藤舎名生(笛)、 藤舎呂悦(囃子)、米川敏子(箏)、東野珠美(笙) ほか 四世杵屋六三郎:長唄「吾妻八景」 四世杵屋六三郎:長唄「勸進帳」 ほか	500
10/2 (木)	ロジャー・リントン(指揮)チューリヒ室内管弦楽団 HJ・リム(ピアノ) モーツァルト:交響曲 第1番 変ホ長調 K.16 ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467 交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」	647
10/17 (金)	ファジル・サイ(ピアノ)&須川展也(サクソフォン) フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調(サクソフォン版) ミヨー:スカラムーシュ サイ:組曲～アルト・サクソフォンとピアノのための op.55 ほか	489
12/11 (木)	IZUMI JAZZ NIGHT 小曾根真(ピアノ)&パキート・デリベラ(クラリネット、サクソフォン)	540
1/9 (金)	いずみホールニューイヤーコンサート2015 ウィーン・リング・アンサンブル ヨゼフ・シュトラウス:ポルカ・マズルカ「とんぼ」 J.シュトラウスⅡ:ニコ・ポルカ ツィラー:ポルカ・シュネル「人生は喜ぶ」 ほか	723
1/13 (火)	樫本大進(ヴァイオリン)&エリック・ル・サーージュ(ピアノ) フォーレ:ヴァイオリン・ソナタ第1番イ長調 op.13 フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ほか	748

### 【普及事業】

8/22 (金)	いずみこどもカレッジ2014～聴こう、感じよう、のこぎり音楽の世界 サキタハチメ(のこぎり)、山下憲治(ピアノ)、えぐちひろし(ギター) サキタハチメ:光のさす方へ、シャキーン!の木 ドビュシー:月の光、ブラームス:ハンガリー舞曲 ほか	511
9/26 (金)	いずみホール夢コンサート 藤岡幸夫(指揮)、有希マヌエラ・ヤンケ(ヴァイオリン) 関西フィルハーモニー管弦楽団 オッフェンバック:《天国と地獄》序曲 ベートーヴェン:ロマンス ヘ長調 op. 50 モンティ:チャールダーシュ ほか	608
2/27 (金)	いずみホール音楽講座 作曲家・西村朗が案内するクラシック音楽の愉しみ方V 「超絶妙宴！」～驚異の技巧を読み解く～ 西村朗(お話) いずみシンフォニエッタ大阪メンバー 高木和弘(ヴァイオリン)、馬淵昌子(ヴィオラ) 丸山泰雄(チェロ)、碓山典子(ピアノ)	694

## IV 財団組織運営に関する事項

### 1. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

平成25年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行後1年を経過し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、平成25年度の公益目的支出計画実施報告書等を平成26年6月30日に内閣府宛へ提出しました。

平成25年4月1日移行時の公益目的財産額 2,906,799,046円

平成25年度の公益目的収支差額 333,948,807円

平成25年度末日の公益目的財産残額 2,572,850,239円

### 2. 評議員会・理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおり。

#### 【評議員会】

定時 平成26年 6月20日

「平成25年度事業報告について」(報告事項)

「平成25年度計算書類承認の件」

「評議員選任の件」

「理事改選の件」

「平成25年度公益目的支出計画実施報告書について」(報告事項)

「平成26年度事業計画および予算について」(報告事項)

臨時 平成26年11月27日 (決議省略)

「定款変更承認の件」

「評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程の改定承認の件」

「理事及び監事の報酬総額承認の件」

#### 【理事会】

第1回 平成26年 5月30日 (決議省略)

「平成25年度計算書類等承認の件」

「平成25年度公益目的支出計画実施報告書承認の件」

「平成26年度定時評議員会招集承認の件」

第2回 平成26年 6月20日

「理事長(代表理事)選定の件」

「常務理事(業務執行理事)選定の件」

「常務理事の担当職務承認の件」

「理事長代行順位承認の件」

「理事の使用人兼務承認の件」

「平成26年度職務執行状況について」(報告事項)

第3回 平成26年11月20日（決議省略）

「臨時評議員会の決議省略についての決定承認の件」

「臨時評議員会の決議事項承認の件」

「役員旅費規程改定承認の件」

第4回 平成27年 3月16日

「平成27年度事業計画および収支予算承認の件」

「理事の担当職務等承認の件」

「常勤役員の報酬承認の件」

「反社会的勢力対策規程改定承認の件」

「平成27年度大阪音楽大学との取引承認の件」

「平成26年度職務執行状況(4月～1月)について」(報告事項)

「平成26年度大阪音楽大学との取引結果について」(報告事項)

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(平成25年4月1日制定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制
- (7) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

各規程に基づく報告事項は以下のとおりですが、経営に重大な影響を与える事案、受益者等の利益が著しく阻害される事案等はありませんでした。

規程名	報告内容	H26年4月～H27年3月の状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	上期・下期にそれぞれ振り返りを実施。遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。

受益者情報管理 規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理 規程	各委託元部署から集約 した外部委託管理の全社 状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案は なし。

#### 4. 定款・規程の改定

平成26年11月20日 第3回理事会

「役員旅費規程改定」（平成27年4月1日施行）

平成26年11月27日 臨時評議員会

「定款変更」（平成26年11月27日施行）

「評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程改定」（平成27年4月1日施行）

平成27年3月16日 第4回理事会

「反社会的勢力対策規程改定」（平成27年4月1日施行）

#### 5. 役員・評議員の状況

平成26年度における役員等の異動は次のとおりです。

平成26年 6月20日	評議員	辞任	橋本 雅博
	評議員	新任(補欠)	楠岡 英雄
	評議員	新任(補欠)	佐藤 義雄
	理事	退任(任期満了)	阿比野 裕
	理事	重任	阿部 裕
	理事	重任	宇高 不可思
	理事	重任	塩野 元三
	理事	重任	篠原 照明
	理事	重任	中村 孝義
	理事	重任	堀本 葉子
	理事	重任	三野 哲治
	理事	重任	若林 昌憲
平成27年 3月31日	理事	新任	田辺 恭久
	理事	辞任	篠原 照明

評 議 員 名 簿 (敬称略)

(平成27年3月31日現在)

評 議 員	小 栗 まち 絵	相愛大学音楽学部 教授・ヴァイオリニスト
評 議 員	川 木 一 正	曾根崎法律事務所 弁護士
評 議 員	楠 岡 英 雄	国立病院機構大阪医療センター 院長
評 議 員	斉 藤 弥 生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評 議 員	佐 藤 義 雄	住友生命保険相互会社 代表取締役会長
評 議 員	中 嶋 直 躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評 議 員	藤 本 宏 樹	住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長

役 員 名 簿 (敬称略)

(平成27年3月31日現在)

理 事 長	田 辺 恭 久	住友生命保険相互会社 常勤顧問・元常務執行役員
常 務 理 事	篠 原 照 明	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
常 務 理 事	若 林 昌 憲	一般財団法人住友生命福祉文化財団 いずみホール事業局長
理 事	阿 部 裕	大阪労災病院・国立病院機構大阪医療センター 名誉院長
理 事	宇 高 不 可 思	一般財団法人住友病院 副院長
理 事	塩 野 元 三	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長
理 事	中 村 孝 義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理 事	堀 本 葉 子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム 所長
理 事	三 野 哲 治	住友ゴム工業株式会社 取締役会長
監 事	上 野 博 明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監 事	片 山 登 志 子	片山・平泉法律事務所 弁護士

6. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

# 貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	822,108,681	551,910,377	270,198,304
未払掛収	0	468,400	-468,400
未収掛収	1,254,563	1,387,713	-133,150
前払掛収	165,740,134	158,745,710	6,994,424
貯蓄	0	28,216	-28,216
有価証券	19,207,928	21,921,910	-2,713,982
立替	300,000,000	99,990,000	200,010,000
前払費用	4,050	0	4,050
未収戻付引当金	6,297,526	6,561,413	-263,887
未貸倒引当金	1,473,171	1,452,939	20,232
	0	-12,680	12,680
	1,316,086,053	842,453,998	473,632,055
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	689,902,139	690,002,974	-100,835
普通預金	11,039,350	11,039,350	0
基本財産合計	700,941,489	701,042,324	-100,835
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	102,721,520	83,721,520	19,000,000
設備更新引当資産	141,419,760	150,055,950	-8,636,190
特定資産合計	244,141,280	233,777,470	10,363,810
(3) その他固定資産			
建物付属設備	42,225,058	46,009,073	-3,784,015
構築物	2,155,691	2,213,599	-57,908
什器備品	181,247,644	208,388,317	-27,140,673
ソフトウェア	58,964,478	75,667,672	-16,703,194
投資有価証券	403,409,815	953,966,165	-550,556,350
電話加入権	432,000	432,000	0
敷金	4,652,000	4,652,000	0
長期前払費用	80,964	132,099	-51,135
その他固定資産合計	693,167,650	1,291,460,925	-598,293,275
固定資産合計	1,638,250,419	2,226,280,719	-588,030,300
資産合計	2,954,336,472	3,068,734,717	-114,398,245
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払費用	97,898,751	69,652,216	28,246,535
未払引当金	9,873,271	10,095,207	-221,936
前受引当金	2,095,460	6,436,958	-4,341,498
賞与引当金	29,378,750	26,930,625	2,448,125
未払消費税等	44,881,150	48,550,772	-3,669,622
未払消費税	120,000	120,000	0
未払消費税	25,399,300	7,395,800	18,003,500
流動負債合計	209,646,682	169,181,578	40,465,104
2. 固定負債			
退職給付引当金	160,015,037	155,716,544	4,298,493
固定負債合計	160,015,037	155,716,544	4,298,493
負債合計	369,661,719	324,898,122	44,763,597
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄附金	699,612,379	699,710,999	-98,620
指定正味財産合計	699,612,379	699,710,999	-98,620
(うち基本財産への充当額)	699,612,379	699,710,999	-98,620
2. 一般正味財産	1,885,062,374	2,044,125,596	-159,063,222
(うち基本財産への充当額)	1,329,110	1,331,325	-2,215
(うち特定資産への充当額)	141,419,760	150,055,950	-8,636,190
正味財産合計	2,584,674,753	2,743,836,595	-159,161,842
負債及び正味財産合計	2,954,336,472	3,068,734,717	-114,398,245

(注)実施事業資産は次のとおりである。

建物付属設備	3,067,516
構築物	2,155,691
什器備品	6,856,822
ソフトウェア	969,029
	<u>13,049,058</u>

# 正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益 息	7,137,785	7,153,455	-15,670
特 定 財 産 運 用 益 息	7,137,785	7,153,455	-15,670
事 業 財 産 運 用 利 益	28,650	54,300	-25,650
健 診 事 業 受 取 利 益	28,650	54,300	-25,650
受 取 補 助 業 収 益	1,288,839,861	1,293,437,442	-4,597,581
受 取 寄 託 金 成 金 等 金	1,066,878,256	1,071,434,765	-4,556,509
受 取 寄 託 金 金	221,961,605	222,002,677	-41,072
受 取 寄 託 金 金	35,321,000	36,230,000	-909,000
受 取 寄 託 金 金	35,321,000	36,230,000	-909,000
受 取 寄 託 金 金	385,000,000	385,000,000	0
受 取 寄 託 金 金	385,000,000	385,000,000	0
雑 収 利 益 息	11,857,259	11,942,398	-85,139
雑 収 利 益 息	10,781,132	10,981,662	-200,530
経常収益計	1,076,127	960,736	115,391
(2) 経常費用	1,728,184,555	1,733,817,595	-5,633,040
給 与 料 業 務 手 賃 費 当 金 用 費	1,860,714,634	1,857,095,750	3,618,884
給 与 料 業 務 手 賃 費 当 金 用 費	367,457,771	364,820,320	2,637,451
退 職 給 付 費	324,639,011	326,248,310	-1,609,299
福 利 給 付 費	32,061,129	24,456,105	7,605,024
旅 費 費	84,866,601	89,209,657	-4,343,056
通 信 費	13,015,951	13,478,202	-462,251
減 価 償 却 費	31,450,292	31,834,311	-384,019
消 耗 品 費	22,036,326	21,701,945	334,381
健 診 料 費	101,572,950	118,348,802	-16,775,852
修 繕 費	817,420	2,276,791	-1,459,371
印 刷 費	12,680,299	17,009,247	-4,328,948
光 賃 保 諸 会 議 交 公 際 課 金	146,000,224	140,180,840	5,819,384
光 賃 保 諸 会 議 交 公 際 課 金	45,384,281	35,358,459	10,025,822
光 賃 保 諸 会 議 交 公 際 課 金	13,173,282	13,376,250	-202,968
光 賃 保 諸 会 議 交 公 際 課 金	15,082,883	14,750,631	332,252
光 賃 保 諸 会 議 交 公 際 課 金	154,016,601	156,390,384	-2,373,783
光 賃 保 諸 会 議 交 公 際 課 金	1,120,020	1,185,314	-65,294
支 払 金 費	4,001,857	4,278,978	-277,121
支 払 金 費	3,044,468	3,315,760	-271,292
支 払 金 費	22,376,286	16,065,263	6,311,023
支 払 金 費	1,656,860	1,582,812	74,048
支 払 金 費	21,000,000	25,500,000	-4,500,000
支 払 金 費	223,940,559	220,410,401	3,530,158
支 払 金 費	0	12,680	-12,680
支 払 金 費	7,108,118	6,436,262	671,856
支 払 金 費	86,454,367	88,468,763	-2,014,396
支 払 金 費	125,757,078	120,399,263	5,357,815
支 払 金 費	26,191,006	25,404,383	786,623
支 払 金 費	2,566,666	2,600,000	-33,334
支 払 金 費	10,273,859	10,272,275	1,584
支 払 金 費	1,252,364	107,388	1,144,976
支 払 金 費	4,085,218	3,691,539	393,679
支 払 金 費	2,821	1,410	1,411
支 払 金 費	666,762	903,178	-236,416
支 払 金 費	37,670	57,731	-20,061
支 払 金 費	27,741	22,110	5,631
支 払 金 費	275	2,488	-2,213
支 払 金 費	38,611	85,965	-47,354
支 払 金 費	10,498	14,665	-4,167
支 払 金 費	393,100	511,615	-118,515
支 払 金 費	64,684	60,347	4,337
支 払 金 費	602,942	571,074	31,868
支 払 金 費	167,444	167,464	-20
支 払 金 費	1,284,825	1,382,907	-98,082
支 払 金 費	729,874	750,082	-20,208
支 払 金 費	2,889,819	2,797,620	92,199
支 払 金 費	171,911	200,125	-28,214
支 払 金 費	70,000	120,000	-50,000
支 払 金 費	739,755	961,779	-222,024
支 払 金 費	114,167	122,621	-8,454
経常費用計	1,886,905,640	1,882,500,133	4,405,507
評価損益等調整前当期経常増減額	-158,721,085	-148,682,538	-10,038,547
特定資産評価損益等	0	8,850	-8,850
投資有価証券評価損益等	0	16,600	-16,600
評価損益等計	0	25,450	-25,450
当期経常増減額	-158,721,085	-148,657,088	-10,063,997
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	342,137	902,142	-560,005
什器備品除却損	342,137	832,475	-490,338
ソフトウェア工除却損	0	69,667	-69,667
経常外費用計	342,137	902,142	-560,005
当期経常外増減額	-342,137	-902,142	560,005
当期一般正味財産増減額	-159,063,222	-149,559,230	-9,503,992
一般正味財産期首残高	2,044,125,596	2,193,684,826	-149,559,230
一般正味財産期末残高	1,885,062,374	2,044,125,596	-159,063,222
II 指定正味財産増減の部			
基 本 財 産 運 用 益 息	7,021,576	7,037,246	-15,670
基 本 財 産 運 用 益 息	7,021,576	7,037,246	-15,670
一般正味財産への振替額	-7,120,196	-7,135,866	15,670
当期指定正味財産増減額	-98,620	-98,620	0
指定正味財産期首残高	699,710,999	699,809,619	-98,620
指定正味財産期末残高	699,612,379	699,710,999	-98,620
III 正味財産期末残高	2,584,674,753	2,743,836,595	-159,161,842



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。  
満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外のその他の有価証券  
・・・期末日の市場価格等に基づく時価法

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数および残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数および残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

### 2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	690,002,974	0	100,835	689,902,139
預金	11,039,350	0	0	11,039,350
小計	701,042,324	0	100,835	700,941,489
特定資産				
退職給付引当資産	83,721,520	19,000,000	0	102,721,520
設備更新引当資産	150,055,950	150,000,000	158,636,190	141,419,760
小計	233,777,470	169,000,000	158,636,190	244,141,280
合計	934,819,794	169,000,000	158,737,025	945,082,769

### 3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	689,902,139	688,573,029	1,329,110	0
預金	11,039,350	11,039,350	0	0
小計	700,941,489	699,612,379	1,329,110	0
特定資産				
退職給付引当資産	102,721,520	0	0	102,721,520
設備更新引当資産	141,419,760	0	141,419,760	0
小計	244,141,280	0	141,419,760	102,721,520
合計	945,082,769	699,612,379	142,748,870	102,721,520

### 4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	641,534,938	599,309,880	42,225,058
構築物	2,797,498	641,807	2,155,691
什器備品	682,298,415	501,050,771	181,247,644
ソフトウェア	148,758,916	89,794,438	58,964,478
合計	1,475,389,767	1,190,796,896	284,592,871

### 5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債権の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
国債	1,393,311,954	1,442,217,606	48,905,652
合計	1,393,311,954	1,442,217,606	48,905,652

6. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高  
 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,710,999	0	98,620	699,612,379	指定正味財産
平成26年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
平成26年度文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化事業)	文化庁	0	33,521,000	33,521,000	0	一般正味財産
平成26年度大阪市芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	200,000	200,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみホールオペラ「フィガロの結婚」公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
合 計		699,710,999	420,321,000	420,419,620	699,612,379	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	7,120,196
合 計	7,120,196

8. その他

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金および退職年金制度を設けている。

②退職給付債務およびその内訳 (単位:円)

退職給付債務	-198,598,000
会計基準変更時差異の未処理額	38,582,963
退職給付引当金	-160,015,037

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

勤務費用	26,883,000
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,493
退職給付費用	33,313,493

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額および退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	48,550,772	44,881,150	48,550,772	0	44,881,150
貸倒引当金	12,680	0	12,680	0	0
退職給付引当金	155,716,544	33,313,493	29,015,000	0	160,015,037

# 予算対比正味財産増減計算書(参考資料)

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用利益	7,138,000	7,137,785	215
特定資産運用利益	7,138,000	7,137,785	215
特定資産受取利息	30,000	28,650	1,350
事業受取利息	30,000	28,650	1,350
診療事業収益	1,312,192,000	1,288,839,861	23,352,139
受取補助業収益	1,083,390,000	1,066,878,256	16,511,744
受取補助業金等	228,802,000	221,961,605	6,840,395
受取補助業金	34,600,000	35,321,000	-721,000
受取補助業金	34,600,000	35,321,000	-721,000
受取寄附金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄附金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	10,825,000	11,857,259	-1,032,259
雑収益	10,747,000	10,781,132	-34,132
雑収益	78,000	1,076,127	-998,127
経常収益計	1,749,785,000	1,728,184,555	21,600,445
(2) 経常費用			
事業費用	1,880,982,000	1,860,714,634	20,267,366
給付料	367,132,000	367,457,771	-325,771
退職給付	329,580,000	324,639,011	4,940,989
広報費	20,586,000	32,061,129	-11,475,129
旅費	80,237,000	84,866,601	-4,629,601
通運費	12,776,000	13,015,951	-239,951
減価償却費	35,523,000	31,450,292	4,072,708
消耗什器備品費	22,224,000	22,036,326	187,674
消耗什器備品費	110,286,000	101,572,950	8,713,050
消耗什器備品費	979,000	817,420	161,580
消耗什器備品費	11,757,000	12,680,299	-923,299
消耗什器備品費	149,338,000	146,000,224	3,337,776
印刷費	27,263,000	45,384,281	-18,121,281
印刷費	13,045,000	13,173,282	-128,282
印刷費	13,800,000	15,082,883	-1,282,883
賃借料	158,090,000	154,016,601	4,073,399
賃借料	1,477,000	1,120,020	356,980
賃借料	4,220,000	4,001,857	218,143
賃借料	3,598,000	3,044,468	553,532
税金	26,251,000	22,376,286	3,874,714
税金	1,869,000	1,656,860	212,140
税金	30,000,000	21,000,000	9,000,000
税金	228,390,000	223,940,559	4,449,441
税金	7,886,000	7,108,118	777,882
税金	88,945,000	86,454,367	2,490,633
税金	135,730,000	125,757,078	9,972,922
税金	25,957,000	26,191,006	-234,006
税金	2,400,000	2,566,666	-166,666
税金	10,546,000	10,273,859	272,141
税金	72,000	1,252,364	-1,180,364
税金	3,439,000	4,085,218	-646,218
税金	50,000	2,821	47,179
税金	1,456,000	666,762	789,238
税金	94,000	37,670	56,330
税金	22,000	27,741	-5,741
税金	1,000	275	725
税金	58,000	38,611	19,389
税金	10,000	10,498	-498
税金	600,000	393,100	206,900
税金	56,000	64,684	-8,684
税金	584,000	602,942	-18,942
税金	2,000	167,444	-165,444
税金	1,620,000	1,284,825	335,175
税金	1,169,000	729,874	439,126
税金	2,750,000	2,889,819	-139,819
税金	3,000	171,911	-168,911
税金	0	70,000	-70,000
税金	921,000	739,755	181,245
税金	104,000	114,167	-10,167
経常費用計	1,906,939,000	1,886,905,640	20,033,360
評価損益等調整前当期経常増減額	-157,154,000	-158,721,085	1,567,085
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-157,154,000	-158,721,085	1,567,085
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	342,137	-342,137
什器備品除却損	0	342,137	-342,137
ソフトウェア除却損	0	0	0
経常外費用計	0	342,137	-342,137
当期経常外増減額	0	-342,137	342,137
当期一般正味財産増減額	-157,154,000	-159,063,222	1,909,222
一般正味財産期首残高	2,038,246,000	2,044,125,596	-5,879,596
一般正味財産期末残高	1,881,092,000	1,885,062,374	-3,970,374
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用利益	7,022,000	7,021,576	424
基本財産受取利息	7,022,000	7,021,576	424
一般正味財産への振替額	-7,120,000	-7,120,196	196
当期指定正味財産増減額	-98,000	-98,620	620
指定正味財産期首残高	699,712,000	699,710,999	1,001
指定正味財産期末残高	699,614,000	699,612,379	1,621
<b>III 正味財産期末残高</b>	2,580,706,000	2,584,674,753	-3,968,753

設備投資額

予算額; 138,546,000

決算額; 54,878,733

# 財産目録（参考資料）

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	内容・備考	金額
<b>(流動資産)</b>		
現金		1,120,770
預金	手元保管 (予防医学振興事業)	950,753
	手元保管 (音楽文化振興事業)	170,017
	普通預金	819,987,911
	三井住友銀行 (予防医学振興事業)	118,366,956
	三井住友信託銀行 (予防医学振興事業)	8,217,167
	みずほ銀行 (予防医学振興事業)	3,668,048
	三菱東京UFJ銀行 (予防医学振興事業)	100,664,553
	三井住友銀行 (福祉事業)	11,606,630
	近畿大阪銀行 (音楽文化振興事業)	138,816,598
	近畿大阪銀行 (音楽文化振興事業)	11,843,294
	近畿大阪銀行 (音楽文化振興事業)	1,212,973
	三菱東京UFJ銀行 (音楽文化振興事業)	1,132,782
	三井住友銀行 (音楽文化振興事業)	2,178,630
	三井住友銀行 (音楽文化振興事業)	15,000,000
	ゆうちょ銀行 (音楽文化振興事業)	1,019,586
	三井住友銀行 (法人会計)	406,260,694
	定期預金	1,000,000
	三井住友銀行 (予防医学振興事業)	1,000,000
	未収収益	1,254,563
	未収金	
予防医学振興事業一健診事業未収金		126,391,605
音楽文化振興事業未収金		38,894,573
貯蔵品	式典等貸館事業未収金	453,956
	予防医学振興事業一健診事業貯蔵品	19,207,928
	福祉事業貯蔵品	16,674,895
有価証券	音楽文化振興事業貯蔵品	4,719
	音楽文化振興事業貯蔵品	2,528,314
立替金	第278回利付国債 (予防医学振興事業)	300,000,000
前払費用		300,000,000
	予防医学振興事業一健診事業前払費用	4,050
	音楽文化振興事業前払費用	6,297,526
		1,256,026
		5,041,500
	未収還付法人税等	1,473,171
<b>流動資産合計</b>		<b>1,316,086,053</b>
<b>(固定資産)</b>		
<b>基本財産</b>		
投資有価証券		700,941,489
		689,902,139
	第41回利付国債 (法人会計)	80,536,960
	第319回利付国債 (法人会計)	196,960,400
	第311回利付国債 (法人会計)	257,615,004
普通預金	第61回利付国債 (法人会計)	98,205,178
	第305回利付国債 (法人会計)	56,584,597
		11,039,350
特定資産	三菱東京UFJ銀行 (法人会計)	11,039,350
		244,141,280
	退職給付引当資産	102,721,520
設備更新引当資産	三菱東京UFJ銀行 (予防医学振興事業)	77,721,520
	近畿大阪銀行 (音楽文化振興事業)	25,000,000
		141,419,760
その他固定資産	三菱東京UFJ銀行 (予防医学振興事業)	141,419,760
		1,291,460,925
	建物付属設備	42,225,058
	構築物	2,155,691
	什器備品	181,247,644
	ソフトウェア	58,964,478
	投資有価証券	403,409,815
		100,399,000
		100,290,000
		50,200,571
		39,005,350
		68,611,081
		44,903,813
電話加入権	432,000	
敷金	4,652,000	
長期前払費用	80,964	
<b>固定資産合計</b>		<b>1,638,250,419</b>
<b>資産合計</b>		<b>2,954,336,472</b>
<b>(流動負債)</b>		
未払金	予防医学振興事業一健診事業未払金	97,898,751
	音楽文化振興事業未払金	85,713,198
未払費用	法人会計一役員交通費未払金	12,181,433
		4,120
預り金	予防医学振興事業一健診事業未払費用	9,873,271
	音楽文化振興事業未払費用	7,127,505
前受金		2,745,766
	音楽文化振興事業前受金	2,095,460
賞与引当金		29,378,750
	予防医学振興事業一健診事業賞与引当金	29,378,750
未払法人税等	音楽文化振興事業賞与引当金	44,881,150
		34,376,163
未払消費税等		10,504,987
		120,000
		25,399,300
<b>流動負債合計</b>		<b>209,646,682</b>
<b>(固定負債)</b>		
退職給付引当金	予防医学振興事業一健診事業退職給付引当金	160,015,037
	音楽文化振興事業退職給付引当金	113,137,037
		46,878,000
<b>固定負債合計</b>		<b>160,015,037</b>
<b>負債合計</b>		<b>369,661,719</b>
<b>正味財産</b>		<b>2,584,674,753</b>

監 査 報 告

平成 27 年 5 月 22 日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 田辺 恭久 殿

監事 上野 博明 ㊞

監事 片山 登志子 ㊞

私たち監事は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上